

手落ち 「漏らす」と同じ手まね。

手を引く 掌を内側にし五指の指頭を下にさした両手を前から胸もとへ斜めに引き寄せる。○○から手を引くの意。

手紙 「綴方」と同じ手まね。

手柄 腕前——名を挙げる（名高い）と同じ手まね。



敵 掌を内側にし五指の指頭を右にさした

左の甲に、掌を

前向け五指の指

頭を左にさした

右手の甲をびっ

たりとつけ合わ

せてから、右手

を前方へ左手を

手前へと引き離す。「別」の手まねにもなる。

適中 「云いあてる」と同じ手まね。

適度 「ちようど」（一致）と同じ手まね

適当 適する 「叶う」と同じ手まね。

手頃 「適度」と同じ手まね。

出来ない 「造る」の手まねの要領で、下の掌の上にたたき降したままの右手拳を前方へずらして離す。「造る」を否定したこと。即ち「出来ない」である。

出来る 「大丈夫」と同じ手まね。

手数 骨折り（右手拳で左の腕をたたく）

一面倒（右手の拳で頭の右上をたたく）

出鱈目 掌を内側にし、指頭を上にした

人差指と中指で交互に下口唇をたたく。

手伝い 骨折り——与える（右手掌を上にして物を与えるように前にさし出す）

徹夜 夜——終日。

鉄砲 「銃」と同じ。

手筈 考え——計画。

手本 「揭示」と同じ手まねをする。

手毬 両手の掌で丸い球を撫でさする真似をして、女の子の毬突きの身振り。

手まね (イ) 指頭を左にさした右手の人差指、指頭を右にさした左手の人差指、この両指を平行にし、糸巻するように上下に互に上下に廻わす(ロ) 人差指で表わす(ハ)の要領で五指を開いたままの両手で互に上下に廻わす。

寺 左手で拝み、右手人差指で木魚或は鉦をたたたく真似をして——家。

照らす 掌を前向けた手の五指を集め合わせて、前方へ突出しながら五指をぱつと開く。(射光)

「照らされる」の受身にするには、掌を内側にした手の五指を集め合わせて自分に向けて、ぱつと五指を開く。

テレビ 掌を前方に向け五指を屈めた両手(テレビの二つのダイヤルを持った手の姿態)右手は右へ左手は左へとダイヤルを廻す

身振り。

田圃 「田舎」の手まね。

天気 (イ)晴—雨—曇—いろいろ。

(ロ) 「天気がよい」の場合は「晴」の手まね。また、「雨」なら「雨」「曇」なら「曇」で表わせばよい。

電気 「稲光」と同じ手まねで表わす。

天狗 「自慢」と同じ手まね。

天才 (イ) 生れる——「緒人^{智恵}達人^{この}」の「一緒」の手まねは、生れたままの意味。即ち生れながらのこと。(ロ) 天—貰う^{智恵}人^{達人}

天災 地震—洪水—風—恐しい—いろいろ

電車 (イ) 掌を下に向けた左手の指頭を右にさした人差指と中指を電線として、その電線に二本の電車のポールを這べらせるように、掌を左側にした右手の指頭を上にした人差指と中指の指頭を左手二指の下につけ右へつたわらせて行く。(ロ) 両手の人差指と中